

# オンライン学習 配信ヒント集

配信に係る問題解決のヒント集  
道研の研修講座の運営から

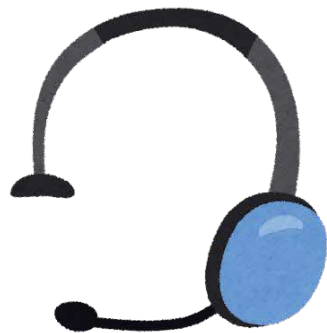
Tool: 配信するために必要な「もの」

Trouble: 配信中よくある「トラブル」とその対策

Point: 遠隔配信を円滑にする「ポイント」

# Tool

配信するために  
必要な「もの」



# Tool

配信するために必要な「もの」

タブレット型PC内蔵の  
カメラ・マイクを使用する場合



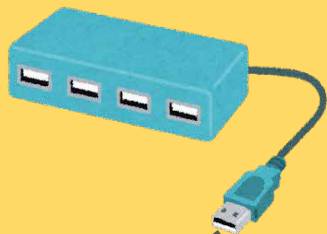
黒板全体を写すと  
タブレット型PCと教師が離れてしま  
い、映像・音が鮮明ではなくなることも  
あります。  
そこで、、、



# Tool

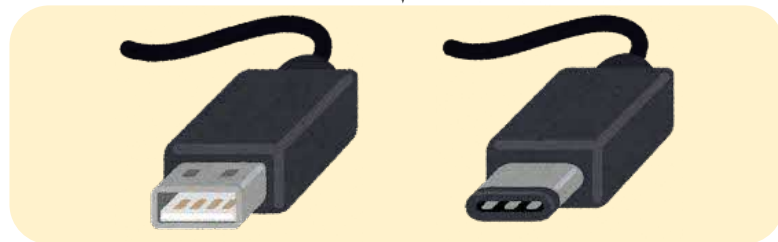
配信するために必要な「もの」

道研の研修講座では、  
このようにして研修を運営していました！



## (1)ハブ

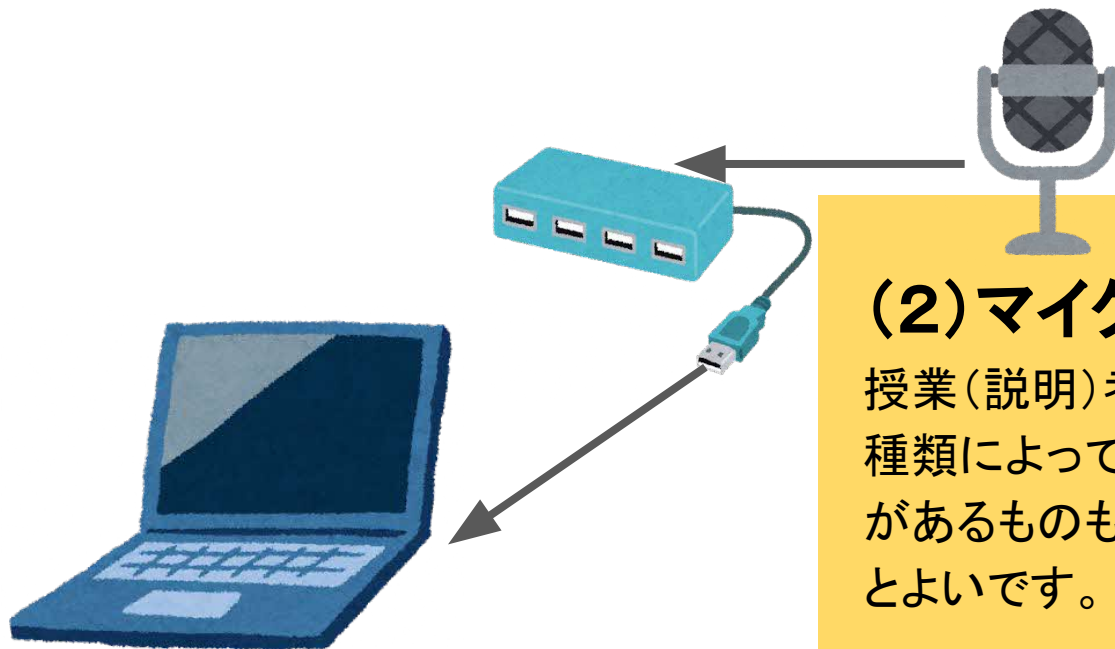
複数の機器(マイク・カメラなど)を  
有線接続する際に活用します。  
お使いの機器の接続ポートに合わせて  
選びましょう。



# Tool

配信するために必要な「もの」

道研の研修講座では、  
このようにして研修を運営していました！



Bluetoothで無線接続できるタイプや  
イヤホンの端子で直接接続できる  
タイプもあります。

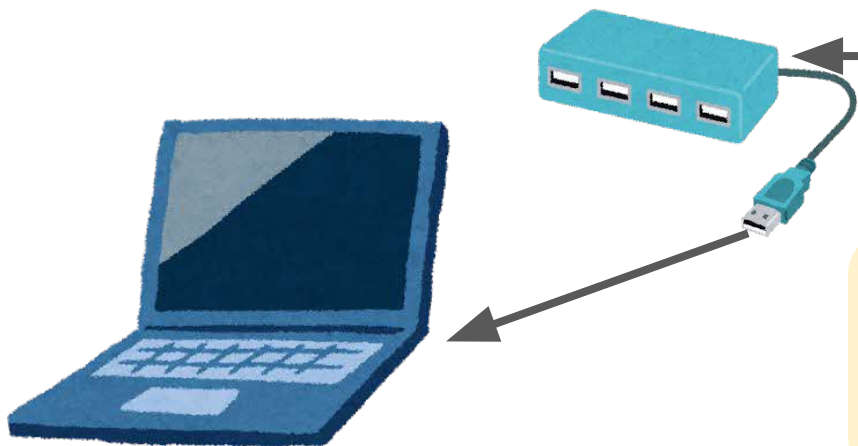
## (2) マイク

授業(説明)者の声を拾うために使います。  
種類によっては、スピーカーとマイク両方の機能  
があるものもあります。用途に合わせて準備する  
とよいです。

# Tool

配信するために必要な「もの」

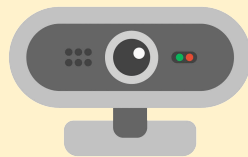
道研の研修講座では、  
このようにして研修を運営していました！



## (3)ビデオカメラ

黒板や複数の人数など広い範囲を撮影するために使います。

カメラのズーム機能を使うと写す対象物を拡大することができます。



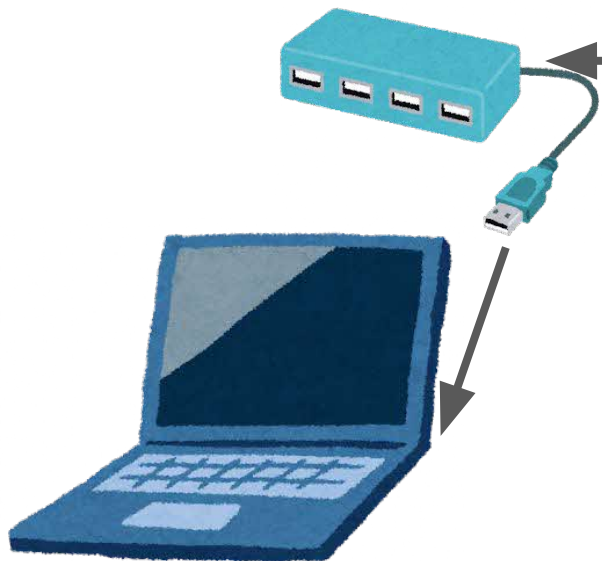
端末にカメラがついていない場合は、ウェブカメラを使用して自身の映像を配信することができます。

# Tool

配信するために必要な「もの」

道研の研修講座では、  
このようにして研修を運営していました！

道研で  
使っている物です。



## (4) HDMI-USB変換アダプタ

ビデオカメラをPCと接続し、Web会議システムのカメラとして利用することができます。



# Tool

配信するために必要な「もの」

9月22日 校長の学校経営力向上研修の様子

ビデオカメラ

運営しているタブレット端末にハブを接続しています。ビデオカメラは変換アダプタに接続しハブへ。マイクは直接ハブに接続しています。

話している人を明るく見せるために、照明を使用する場合があります。

マイク(スピーカー兼)

可能であれば、配信場所を常設しておく、オンライン授業に取り組みやすくなります。

# Trouble

配信でよくある「トラブル」と

その対策



# Trouble

配信でよくある「トラブル」と  
その対策



## (1)ハウリング

設置するマイクとスピーカーの位置関係によっては、マイクが捉えた音が増幅されてスピーカーから出力され、「キーン」「ブーン」といった不快な音が発信されることがあります。

### 対策例

- ①他の音を拾わないように全員イヤホンマイクを使う。
- ②スピーカーとマイクを離して設置する。

# Trouble

配信でよくある「トラブル」と  
その対策



## (2) 自分の映像が映らない

ビデオカメラが正しく選択されていないことが考えられます。

### 対策例

- ① Web会議システム上でカメラが正しく選択されているか確認してください。



ここから選択します

- ② ビデオカメラを使用している場合は、HDMIをUSBに変換して接続してください (P7参照)。

学校の通信帯域に負担がかかっているときは、「受信側のカメラを切る」などの工夫もできます。

# Trouble

配信でよくある「トラブル」と  
その対策



## (3) 自分の声が届かない

マイクが正しく選択されていないことが考えられます。

### 対策例

①Web会議システム上でマイクが正しく選択されているか確認してください。



ここから選択します

②端子の接続の確認をしてください。

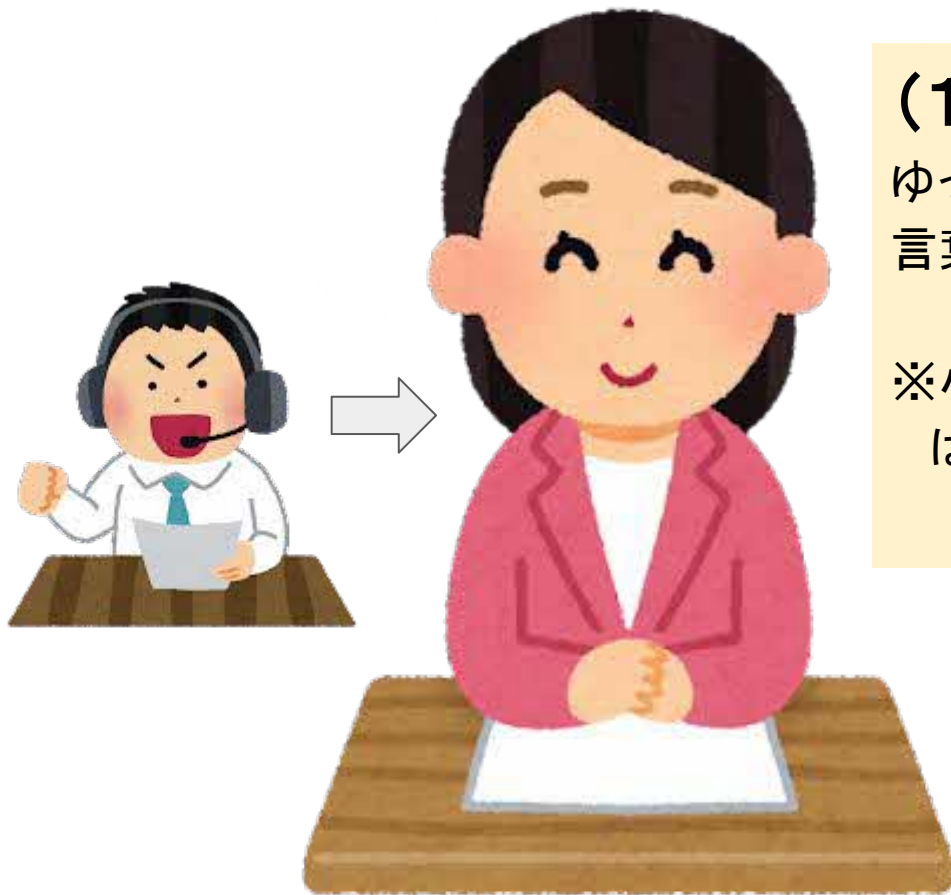
①②でも解決しない場合は、  
受信側のスピーカーの問題が考えられます。  
「ミニホワイトボードなどに書いて知らせる」  
「チャットを活用する」  
など視覚的に伝える工夫もできます。

# Point

遠隔配信を円滑にする「ポイント」



# Point 遠隔配信を円滑にする「ポイント」



## (1) 話し方の工夫

ゆっくり・はっきり話すことを意識しましょう。  
言葉と言葉の間を大事にしましょう。

※小声や早口で話すと、Web会議システムでは聞き取りにくいことがあります。

# Point 遠隔配信を円滑にする「ポイント」



令和3年度(2021年度)  
校長の学校経営力向上研修  
～組織力を高める校長としてのリーダーシップの在り方～

研修のねらい

これからの時代に求められる校長としての  
リーダーシップの在り方について理解を深め、  
学校経営力の向上を図る。

## (2) 資料提示の工夫

- ①黒板や大型ディスプレイなどを背景に配信する。
- ②資料などを共有しながら配信する。

※受け手の端末で見られることを想定して文字のサイズを大きめにする、行間を広めにする、画面越しでも判別できるような配色にするなどの工夫をするとよいです。

# Point 遠隔配信を円滑にする「ポイント」



## (3)映像を鮮明にする工夫

①映像を明るくする。

・外の強い光が入り込むと教師の顔が暗く映ってしまうため、カーテンを閉めるなどの工夫をするとよいです。

②光の映り込みを防ぐ。

・大型ディスプレイなどの映像に光が入り込み、反射すると映像が見にくくなる場合は、カーテンを閉めたり、照明を消したりするなどの工夫をするとよいです。

# Point

遠隔配信を円滑にする「ポイント」

9月22日 校長の学校経営力向上研修の様子

円滑に講義（授業）が進められるように、講義（授業）と機器操作の担当を分け、複数体制で運営をしています。

## 【情報機器担当の役割】

資料の共有、ブレイクアウトルームの設定、トラブルなどのチャット対応、再入室の許可など

## 【講義（授業）担当の役割】

説明、受講者の様子の確認など

